

事務事業評価シート(平成22年度実績分)

(1) 事務事業の名称・位置づけ【Plan1】

白色のセルのみ入力してください。(コメントを見ながら入力)

事務事業コード	事務事業名	担当課	担当係名	所属長(課長等)名	担当者係長名	
06114	交通安全事業	建設水道課	建設管理係	漆戸芳樹	中村京子	
		一次評価年月日	平成 23 年 6 月 15 日	連絡先(内線)	2164	
事務事業実施の根拠・位置づけ	予算における位置づけ (会計区分・事業コード・事業名)	<input type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 特別 <input type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 特別	事業コード	事業名(歳出予算見積書)		
			0211	交通安全対策事務		
			#N/A			
	第四次総合計画後期基本計画の施策体系における位置づけ	章	(コード選択)	3章	夢のある地域形成	
		節	(コード選択)	3節	町の活動を支える交通体系を整備する	
		項[基本施策]	(コード選択)	332	生活交通網等の整備	
主な取り組み		(コード選択)	3322	生活交通対策の推進		
関連する計画等への位置づけ	<input type="checkbox"/> 第四次行財政改革大綱 <input type="checkbox"/> 3ヶ年実施計画 <input type="checkbox"/> 主要業務報告 <input type="checkbox"/> その他					
事務期間	(開始) 年度 ~ (終了予定) 年度			開始時期不明	終期設定なし	

(2) 事務事業の内容(目的と手段を把握します。【Plan2】

①対象(～に対して)……この事務事業はどんな人(誰・何)を対象に行っていますか。

辰野町に住むすべての人及び辰野町を利用するすべての人

②目的(意図)(～という状態にするために)……この事務事業のサービスを提供することによって対象をどういう状態にしたいのですか。

交通安全施設を整備し、交通安全の啓発活動することにより、運転者も歩行者もすべての人々が思いやりの心を持ち、安心して安全な社会をつくるために、交通事故の減少及び死亡事故ゼロの町を目指します。

③手段(事業内容)(～を行う)……上記①の対象に対して、どのような手段で②の目的(意図)を達成するか、事業の実施内容(サービスの概要)を記入します。

- 交通安全施設(道路防護柵、反射鏡、照明等)設置及び補修
- 交通安全運動の推進(毎月の早期街頭指導、交通安全運動期間中の各種活動、ホームページによる啓発活動)
- イベントにあわせた交通安全啓発活動(ふれあいウォーク、子ども自転車大会)
- 新入学児童の安全を願い、黄色い帽子の配布及び交通安全協会の協力によるストップライン引き

(3) 活動指標の設定と推移……(2)の③サービスの概要(手段)の指標を表します。【Do1】

区分	単位	実績値		計画値		最終目標年度		
		21年度	22年度	22年度	達成率	22	年度(見込み)	
①	指標名	交通安全施設の設置・修繕申請箇所数		21	36	20	1.80	36
	説明	交通安全施設の設置・修繕を行った箇所数		目標値設定の根拠 前年度実績から見込む				
②	指標名	交通安全運動活動数		32	27	25	1.08	27
	説明	交通安全啓発活動の回数		目標値設定の根拠 前年度実績から見込む				

(4) 成果指標の設定と推移……(2)の②目標(意図)の達成度を指標で表します。【Do2】

区分	単位	実績値		計画値		最終目標年度		
		21年度	22年度	22年度	達成率	22	年度(見込み)	
①	指標名	辰野町における死亡事故件数		0	1	0	#DIV/0!	1
	説明	辰野町における死亡事故件数		目標値設定の根拠 死亡事故ゼロを目指す。				
②	指標名	交通安全施設の設置進捗率		100	90	100	0.90	90
	説明	設置件数/申請件数		目標値設定の根拠 申請件数の設置を見込む。				

(5) 総事業費(コスト)の推移【Do3】

※事業費の算定方法

決算書・予算書等に記載の数字 按分計算による算定

○総事業費(コスト概算) =①+②	(千円)	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度					
		決算	決算	決算	見込み					
		7,344	8,968	10,318	7,771					
対前年比	%		122.1	115.1	75.3					
A) その他の財源(国庫支出金・県支出金・地方債・分担金・使用料・雑収入など)		0	870	141	150					
B) 一般財源(税金)		7,344	8,098	10,177	7,621					
①事業費	(千円)	5,610	6,991	8,351	5,930					
対前年比	%		124.6	119.5	71					
②人件費の概算	(千円)	1,734	1,977	1,967	1,841					
対前年比	%		114	99.5	93.6					
		課長	課長補佐	係長	一般職員	延べ人数	年間人件費	年間人件費	年間人件費	年間人件費
		H21 H22 H23	H21 H22 H23	H21 H22 H23	H21 H22 H23	H20 H21 H22 H23	/	/	/	/
町職員(正規職員)		0.02 0.02 0.02	0.08 0.08 0.08	0.12 0.12 0.12	0.00 0.00 0.00	0.22 0.22 0.22	1,734	1,977	1,967	1,841
臨時職員		人数及び人件費の算出は別シートで計算となっています。(人件費計算式)シート					0	0	0	0

指標化

(6) 項目別評価 [Check]

視点	項目別評価	判定	評価結果
必要性	1. 事業のニーズに変化はありますか	A	A 増加傾向にある B 変化していない C 減少傾向にある D かなり減少している
	2. 町(行政)が関与する必要性がありますか	A	A 町が主体となる必要がある B 町以外の主体で実施できるが町の関与は必要 C 町も関与するが関与の度合いを縮小できる D 町の関与のあり方を再検討する
目的妥当性	3. 対象の設定は妥当ですか	A	A 対象は現在の設定が妥当である Bの場合その具体的な内容をお書きください B 対象の変更の余地がある
	4. 目的(意図)の設定は妥当ですか	A	A 目的(意図)は明確で上位の施策に合致している Bの場合その具体的な内容をお書きください B 目的(意図)は上位の施策に合致していない点がある
有効性	5. 期待された成果は得られましたか(成果指標の目標値への達成度)	B	A 期待したとおりの成果があった C・Dの場合その具体的な内容をお書きください B 概ね期待したとおりの成果があった C 期待したほどの成果が得られなかった D 成果が少なく今後も向上する見込みがない
	6. 連携可能な事務事業はありますか(町以外の取り組みも含めて)	A	A すでに実施している A・Bの場合その具体的な内容をお書きください B 今後は可能性がある C 今後も可能性はない
効率性	7. 成果を下げずにコスト(事業費・人件費)を削減できますか	A	A 余地なし C・Dの場合その具体的な内容をお書きください B 当面は余地なし C 一部余地あり D かなり余地あり
公平性	8. 受益者負担は適切ですか	B	A 検討の余地なし C・Dの場合その具体的な内容をお書きください B 当面検討の余地なし C 一部検討の余地あり D かなり検討の余地あり
その他	9. 現在の事業内容(サービス)に対して、対象の声やニーズを把握していますか	B	A アンケートなど具体的な方法で把握している A・Bの場合その具体的な把握方法を、Cの場合その理由をお書きください B 日常業務の中で把握している C 把握していない 啓蒙活動の折に把握及び各区からの要望を受けます。

(7) 改革改善 [Action]

今後の方向性(上記評価結果をもとに今後の方向性を記入します。) **口を一つチェックしてください。**

- ア. 現状のまま継続する イ. 見直しのうえで継続する ウ. 終期設定 エ. 廃止 オ. 休止

〈今後の展開方針〉(イを選択した場合のみ口を一つチェックしてください)

- a 重点化する(コストを集中的に投入する等)
 b やり方を改善する(実施主体や実施の手段を変える)
 c 効率化を図る(コストを下げる)
 d 縮小する(簡素化する)
 e その他(別事務事業に統合する等)

(ウ・エ・オを選択した場合のみ記入してください)

時期(年度)

事業改善の経過

(前年度で記入した事業の方向性の具体化内容についての評価やこれまでに事業改善をした経過を記入します。)

計画的な事務事業を行います。
 ①各区よりの要望箇所は現地調査を行い設置基準に照らし合わせ実施を行います。
 ②高齢者・自転車の交通事故防止を重点に啓発活動を行います。

事業の方向性の具体化

(誰が、何を、いつまでに、どうするか(5W1H)等の改革改善案を記入します。)

①各区から要望があったときは速やかに検討いたします。修繕は速やかな対応を行い安全対策に心がけます。
 ②高齢者の交通安全教室・家庭訪問活動を行い交通安全意識の啓発をします。

23年度予算見積書への反映 あり なし

[反映内容]

啓蒙活動及び安全施設の設置を行います。

(8) 所属長 所見 (事務事業の総合評価及び今後の方向性について)

(評価事務事業の責任者の意見として、総合的な評価に関する所見を記入します。)

死亡事故が発生し、「死亡事故ゼロ1,000日」の記録はなくなったが、年間を通して交通安全には重点を置いてきた。これからもこのまま交通安全運動を継続。

上位の施策の推進に貢献していますか。口をチェック

- A. 貢献度 大 D. 上位施策なし
 B. 貢献度 中
 C. 貢献度 小

- ア. 現状維持 イ. 見直しのうえで継続する ウ. 終期設定 エ. 廃止 オ. 休止

上記 a~e を選択